

立同戦を終えて、
8月27日(土)福山カントリークラブで開催。私は同志社の若者3人とプレー。彼らの闘争心には感服した。ティショット、フルスイング。OBかも。暫定球。フルショット。OBかも。3打目。ぎりぎりセーフ。初球の到達地点へ。木に当たりフェアウェイと真ん中にボール。彼らは常に全力プレー。この闘争心。彼らはこの混迷の世の中、きつと強く生



2011年8月27日 立同戦(福山カントリークラブ)

東部校友会ゴルフ同好会 会員募集中!!
千 葉 誠 二 (昭和55年 経済卒)
小田会長の下、現在の次の3大会を開催しています。
①関西8大学OB親善ゴルフ大会 (毎年10月開催)
②ゴルフ立同戦(今年は4月)
③リッツ広島の親善ゴルフ

きっていくだろう。そう強く感じた。立命館大学の若き後輩たちの熱き、強き心を見たい。いざ集わむ。ゴルフ同好会へ。多くの新規会員申し込みをお待ちしています。
お問い合わせ
幹事 小林 光明
090-2299716008

会計報告

2010年7月16日～2010年9月16日現在 (単位:円)

| 収 入 | | 支 出 | |
|---------|---------|-------------|---------|
| 摘 要 | 金 額 | 摘 要 | 金 額 |
| 前年度繰越金 | 127,561 | 総 会 費 | 478,449 |
| 会 費 | 397,000 | 幹 事 会 | 49,470 |
| 賛助金・御祝等 | 120,000 | 総会の案内ハガキ印刷代 | 21,000 |
| 利 息 | 46 | 事 務 費 | 16,714 |
| 会報誌広告 | 110,000 | 通 信 費 | 6,330 |
| 会報誌協賛金 | 147,000 | 会報(送料含む) | 171,008 |
| 寄 付 金 | 63,300 | 校友総会参加費 | 16,000 |
| | | 旅 費 | 15,400 |
| | | 新入会員歓迎会助成金 | 34,674 |
| | | 次年度繰越金 | 155,862 |
| 計 | 964,907 | 計 | 964,907 |

会計監査報告

2011年(平成23年)立命館大学広島県東部校友会の会計報告を監査したところ、関係証拠書類、金銭出納簿も適正に処理され、適正であることを認めます。

監査日時: 2011年(平成23年)9月16日
監査場所: 福山市市役所

会計監査 玉 木 清

| | | | |
|---|--|---|--|
| 公認会計士 小川弘洋事務所 (昭和54年 経済卒) | 福山電業株式会社 島田 齊 (昭和54年 産社卒) | 高増運送有限公司 小林 光明 (昭和53年 経済卒) | 池田スタジオ 池田 安 登 (昭和48年 経済卒) |
| 有限会社マネジメントオフィス 社会保険労務士 平岡 好 明 (昭和50年 経営卒) | 内外印刷株式会社 新 屋 利 勝 (昭和50年 経済卒) | 備後燃料有限公司 壇 上 博 則 (昭和52年 経済卒) | 有限会社マナ 池田 安 登 (昭和48年 経済卒) |
| 栗田税理士事務所 栗田 三 秀 (昭和55年 経営卒) | リブ心理教育研究所 櫻 井 久 仁 子 (昭和58年 産社卒) | 株式会社マナ 池田 安 登 (昭和48年 経済卒) | 福山市役所立命会 会員一同(56名) |
| 株式会社ベッセル 山 足 頼 道 (昭和59年 法卒) | | | |

校友 馬場依奈美さん、被災地支援ツアー

「てごうし隊」を結成!!

備後からマンパワー



来月のツアーに向けて話し合う馬場さん(左)と津川さん(福山市内)

被災地へ支援ツアー

福山市の行政書士らが、東日本大震災の被災地を支援する団体を立ち上げた。団体名は「てごうし隊」。来月には市内の旅行代理店と提携し、宮城県岩手県で被災地から離れた地域から可能な支援のあり方を模索している。発案したのは同市新選町の行政書士、馬場依奈美さん(33)。4月下旬5月上旬の15日間、宮城県のボランティアセンターを訪れ、支援情報をパソコンで整理する活動に携わっ

福山の行政書士ら結成「てごうし隊」

左側では「正副的」な人手が不足している。30日午後7時から希望と痛感したという。知者に事前説明会を開く。津川治樹さん(31)は30日までに同協議会に協力を要請。パスツアは7月8、11日の3泊4日(車中泊2日含む)。参加費は滞り1人約4万円かかるが、備後地域の企業から協賛を呼び、ホテル宿泊代まで約2万5000円まで抑えた。往復の車内で協賛企業の告知CMなどを放映する。定員約20人の今回のツアーには既に多くの市民から応募があり、同会は第2回以降の実施も検討する。震災発生から1カ月

会福祉協議会も協力。30日午後7時から希望と痛感したという。知者に事前説明会を開く。津川治樹さん(31)は30日までに同協議会に協力を要請。パスツアは7月8、11日の3泊4日(車中泊2日含む)。参加費は滞り1人約4万円かかるが、備後地域の企業から協賛を呼び、ホテル宿泊代まで約2万5000円まで抑えた。往復の車内で協賛企業の告知CMなどを放映する。定員約20人の今回のツアーには既に多くの市民から応募があり、同会は第2回以降の実施も検討する。震災発生から1カ月

2011年6月23日(月) 毎日新聞朝刊

3月11日に発生した東日本大震災は、我々に「地震列島日本」の姿をまざまざと見せ付け、自然の猛威の中での私たちの無力を感じさせるものでした。テレビ、新聞、ネット等を通して入ってくる被害の甚大さは私たちの想像をはるかに超えるものであり、半年を過ぎた今日もまだ不自由な生活を強いられるおられます。被災地の皆様に改めてお悔やみとお見舞いを申し上げます。

この状況の中で、全国各地の大勢の皆さんが義援金を寄せたり、又ボランティアとして現地に赴き、一刻も早い復旧、復興を目指してお手伝いをされている個人、組織の方が今尚、大勢いらつやいます。そうした活動をされている中に、私たち広島県東部校友会のメンバーで幹事として本会の世話をしていた、馬場依奈美さん(平成13年卒)が、震災後いち早く支援を目的としたボランティア組織「てごうし隊」をこの福山の地で立ち上げ、以後メンバーと共に現地での支援活動を続けてこられています。

こうした活動が大きな反響を呼び、新聞、テレビ等で報道され、すでに「存知の方も多し」と思いますが、私たちの身近な仲間一人が支援活動に組織を立ち上げられた事に大いに敬意を表すものであり、大変誇りに思う事でもあります。

ここに活動の様子を紹介した記事を掲載しました。馬場さんの思いは決して半端なものではなく、それ故、福山で大勢の人々の共感を呼んだのだらうと思えます。完全復興には相当な時間と経費がかかります。一人ひとりが出来る支援は幾らでもあろうかと思えます。これからは夫々が可能な支援をしていきたいと思います。馬場さんの思いを共通のものとして...

IT委員会

藤原 文子 (昭和61年 産社卒)

広島県東部校友会のHPが開設され、IT委員会が発足して2年半が経とうとしています。

「立命館大学広島県東部校友会」
http://alumni.ritsumei.jp/hiroshima_tobu/

今までホームページを通じて総会の参加申し込みが年に数件ありました。このホームページがなければ繋がらなかった御縁です。

IT委員長を仰せつかってこの2年半の間、校友会メンバーの日々の活動や記事の収集ということの難しさに悩んでおりました。

昨年からは個人的にFB(Facebook)を始めることになり、FBの中で再会をしたというドラマのような展開がありました。インターネットは個人情報漏洩など怖いところもありますが、安全対策をして便利なツールとして考えれば、海外にいる校友ともメール交換をして旧交を温めることもできます。これを使いたい!日頃忙しいメンバーがこのコミュを使って連絡をやり取りできないか。その課題を解決するために、実験的にFBで立命館大学東部校友会(クロウズド)のコミュを作りました。そこでは、6名の管理人が会の運営をしています。

将来的には誰でも参加が可能なようにしたいのですが、管理人もまだFBに慣れて行く段階なので、今

居酒屋同好会記

藤原 文子 (昭和61年 産社卒)

昨年の10月17日(日)、第2回居酒屋同好会がスペイン居酒屋「ポラーチョ」にて、和やかに開催されましたので報告させていただきます。

日曜日の夜ということと尾道で開催されたということで、メンバーは8名となりました。二次会に移動するタイミングで、藤原が参加となりました。皆さんすでにいい感じで「ポラーチョ」になっていらつやいました。

二次会に選ばれた場所は、尾道商

は少人数が進めています。いずれ、県外の校友の方にも少しでも立命館に御縁があれば入っていただくといいふうにしたいて考えています。

この記事をお読みになって、「広島県東部校友会」のFB(クロウズド)に入りたいと興味を持たれた方がいらつやいましたら、いきなり「入りたい」というリクエストをされるのではなく、まずは東部校友会の人と個人的にお友達になっていただいて、リアルでお会いした時に入会を尋ねてみてください。

ネットはあくまでもツールであり、本当に大切なことはリアルで話す。管理人はこの基本線でいきたいという結論になりました。本気で広島県東部校友会の未来を背負ってくれる方の参加をお待ちしています。